

いちじき
立正佼成会一食平和基金
宮城県復興支援事業

復興まちづくり協議会等
事務局ステップアップ助成

募集要項、事例集

立正佼成会 一食平和基金

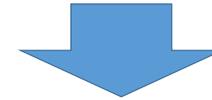
(本助成事業事務局)
みやぎ連携復興センター

1

本助成の目的・趣旨

被災地のまちづくりは住民が担っている

震災前の地域の環境や被災状況など異なる中で、新たなまちの計画づくりのために住民が主体となってまちづくり協議会等を作り、勉強会、イベントの開催など多様な取組が展開されている。



その中でまちづくり協議会等の事務局を担う部分は、日々の活動の中で疲弊している。



事務局の機能強化に注力した助成を行うことで、

1. まちづくり協議会等の基盤強化を実現する。
2. 県内のネットワークを広げる機会とする。
3. まちづくり協議会等の事務局を担う存在の重要性を社会に広く認知させる。

2

本助成の目的は・・・

「これで事務局が長く続けられるようになった！」「事務局の環境がよくなったのでまちづくり活動にも弾みがついた！」



現在の事務局機能を
よりよい姿へ
ステップアップ！



調べたい
学びたい
深めたい
伝えたい
整えたい

5つのテーマから

最低2つを選択。

問題解決の第一歩を！

「問題が山積みでどこから解決したらわからないよ～」「ひとりでは事務局なんてできないよ～」

学びたい

～新たな知識を**学び**スキルアップ

課題

- ★他地域の事例検討やまちづくりの
学びの機会をつくりたいが、予算がない。
- ★団体の経理、広報PC文書作成など
実務スキルが不足している。



活用例

・先進地域
訪問視察
自分たちの
活動や地域を
見つめなおす

宿泊費：10万円
バス賃：10万円
研修先謝礼：3万円
計 23万円

・外部研修
参加
PCの文書作成
技術を習得

研修参加費：1万円
研修交通費：2万円
計 3万円

・勉強会開催
まちづくりの
専門家を招き、
計画づくりに
生かす

講師謝金：2万円
講師交通費：8万円
計 10万円

整えたい

～機能を高めるために環境を整える

課題

- ★事務局機能強化、勉強会実施のために必要な備品をそろえ、活動を活性化したい。
- ★活動諸経費の自己負担が多く、活動の制約となっている。

活用例

・機器など購入

継続開催のための環境整備

機器など購入:3万円

・事務局業務に係る諸経費

活動が活発化する。

駐車料金:0.1万円×3名
ガソリン代:0.4万円×3名
会議打合せ代:0.5万円
計:2万円

深めたい

～現在の思いや議論をさらに深める

課題

- ★会議の頻度は多いものの、会員の思いの共有や地域将来のことを深く考える時間が不足している。
- ★活動がマンネリ化しており、議論や活動がなかなか進まない。

活用例

・役員合宿

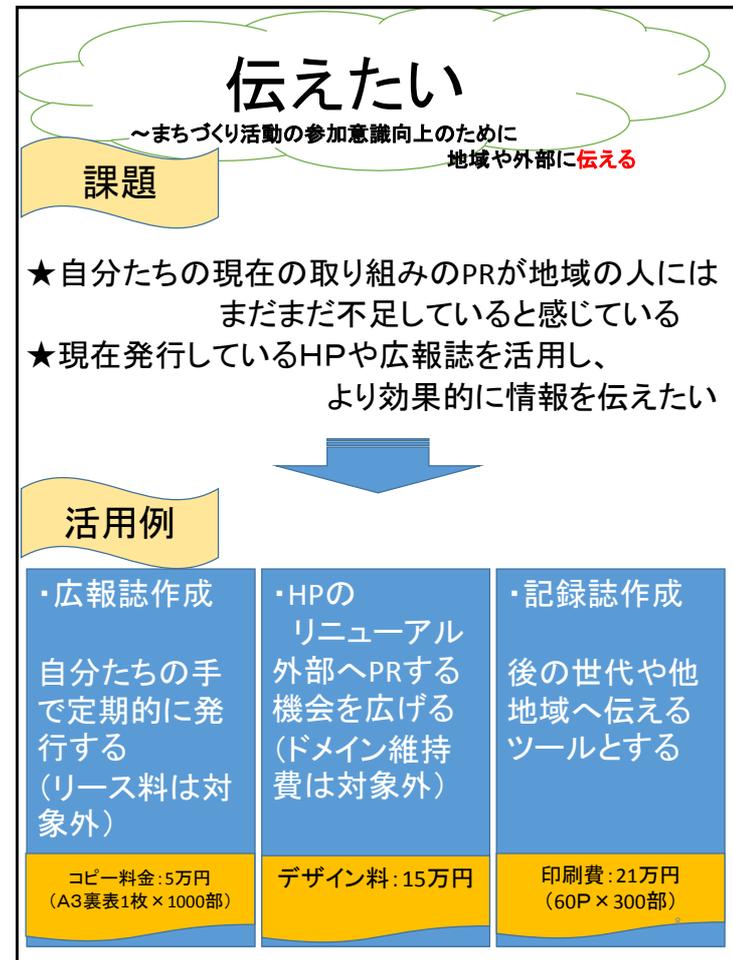
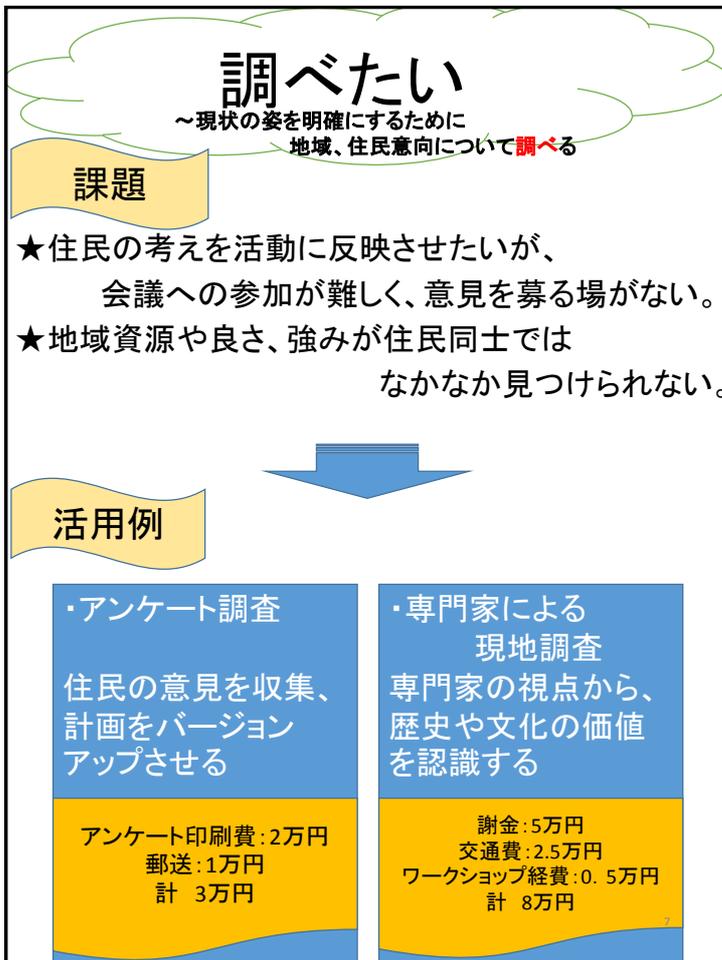
違う環境下で、役員・事務局が語り合い、地域ビジョンづくりの基礎を作る

役員旅費:5万円×5人
計 25万円

・ファシリテート 講師派遣

会議の進行を学び、議論をレベルアップする。

講師謝金:2万円
講師交通費:2万円
計 4万円



注意！

対象外となる費用

- ・事務所家賃・税金
- ・事務所光熱水費
- ・HPのドメイン、サーバ料金
- ・役員・事務局携帯電話料金
- ・機器リース代
- ・役員・事務局への給与



事務局維持のために継続的に支出する費用、目的にそぐわないものは助成対象外とします。

9

○応募要件

宮城県内で住民が主体となって活動する団体で復興まちづくりに関する活動を行っている以下の条件をすべて満たす団体

(法人格は問わない)

- ① 特定のエリア(行政区、学校区、事業区域 など)を活動対象としている
- ② ①の区域に居住、あるいは居住希望のある方で構成される団体である
- ③ 資金管理を行う事務局が決まっている。
- ④ 住民同士の話し合いを定期的を実施している。
- ⑤ 情報発信を行っている、もしくはこの事業で行うことを検討している

6/7説明会・
11月報告交流会への参加・報告書提出
が必須です。

10

○助成金額

上限 50万円

* 審査によって申請額の減額もあるものとします。助成先決定の前に調整させていただきます。

○事業期間

平成27年5月1日～10月31日

○審査

本助成事業は申請頂いた後に審査員による書類審査があります。

* スケジュールは14ページ参照

11

○応募について

・提出書類:

- ①申請書(様式1)
- ②役員名簿(任意様式)
- ③規約や定款,もしくはそれに準ずる組織運営の基準を定めた文書
(任意様式)
- ④前年度の事業報告書・決算書、および今年度の事業計画書・予算書
(任意様式)
- ⑤チラシやパンフレットなど活動内容が分かる文書・資料
(任意様式)

* 様式は当センターHP(www.renpuku.org)よりダウンロードしてください
(難しい場合はご相談ください)³²

○応募について

・応募受付期間:

平成27年4月13日(月)～30日(木)

【消印有効】

・応募方法:

書類を、受付期間内に下記あてに
郵送にてお送りください。

(メール・FAX・直接持参の場合、
受付いたしません)

・書類送付・問合せ先

〒980-0804

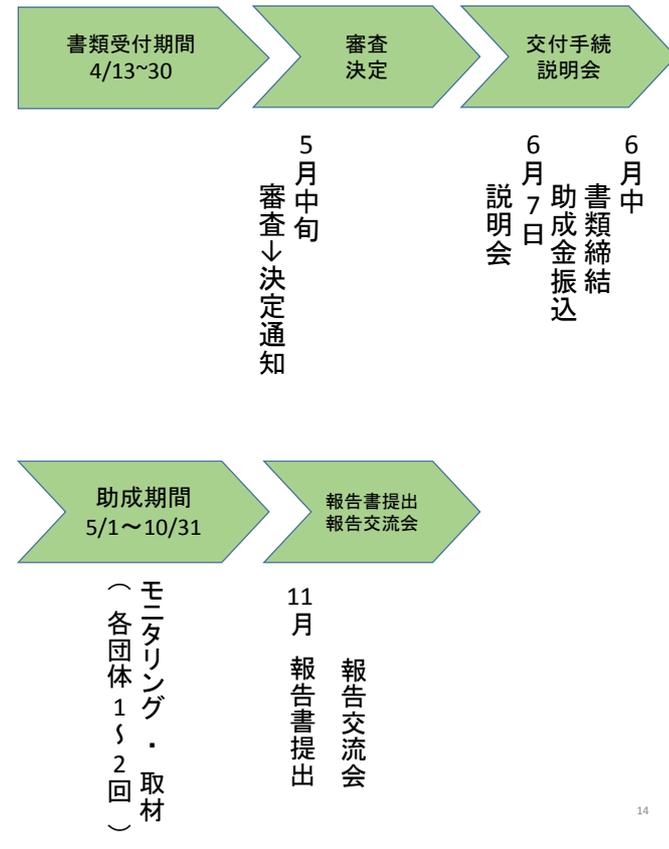
仙台市青葉区大町1-3-7 裕ビル6F
みやぎ連携復興センター

担当:佐藤、宮野

TEL:022-748-4550 FAX:022-748-4552

mail:oubo【at】renpuku.org ([at]を@に変えて送信)

○スケジュール



ご応募
おまちして
おります！！